



# 蓬菜だより

令和4年8月26日 鼠ヶ関小学校 学校だより8月号

## 充実の2学期をめざして始動

例年よりもやや遅めの7月28日から始まった27日間の夏休みも終わり、8月24日からは学校にまた元気な子ども達の声が響き始めました。登校したときの笑顔から、楽しい夏休みになった様子が感じられました。



さて、本市の新型コロナウイルス感染拡大と本校の状況に鑑み、始業式はオンラインで行いました。児童代表の言葉では、4年〇〇〇〇さんが「マラソンで自己ベストを出すために苦しくてもあきらめない」「毎日音読を続け、物語を深く理解できるようにする」「タイマーを使ってメディア時間を短くする」という3つのめあてに向かって努力していきたいと、決意を込めて発表しました。校長からは、1学期末に全校で実施した振り返り結果をもとに、よりよい充実した生活をめざして、次のことを頑張ってもらいたいと子ども達に伝えました。各ご家庭でも話題にいただければありがたいです。

【自立】自分でよく考えて学習（授業＋家庭学習）や各活動等に取り組む

【感謝】仲間を大切に協力し合って学習や行事等に取り組む

あいさつ・会釈（いつでも・どこでも・誰にでも・何度でも・自分から）

【挑戦】自分が決めためあてを実行して健康な生活をつくる

メディア時間に気をつける ←1学期振り返りで課題となっています

全国的には新型コロナウイルス感染症第7波の収束はまだ見えない状況となっており、さらに県内では8月初めの大雨により被災し、とても厳しい生活を余儀なくされている方々がまだ大勢いらっしゃいます。このような事実を子ども達にも伝え、感染防止対策による制限はあっても、2学期がスタートできることへの感謝の気持ちをみんなで共有しながら、今後の教育活動を推進してまいります。約4か月間の長い2学期、皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

文責：校長 齋藤 優子

## 「第71回全国へき地教育研究大会山形大会」まで1か月



9月30日（金）は本校を会場として全国大会が開催されます。参集型とオンラインによるハイブリッド型大会で、2つの学年を公開・配信します。隣県だけではなく、南は沖縄県から参加する方もいらっしゃいます。生き生きと学習に取り組む子ども達の様子を通して、本校の教育活動について貴重な意見をいただく機会にするとともに、参加した各校の先生方にとって学びのある研究会になることを期待しています。

★ 第2学年 算数「形名人になろう」

松浦 由紀 教諭

★ 第5学年 総合「鼠ヶ関未来プランナーPart1」

五十嵐寛幸 教諭